

キャラクター名
アレン・バルザック

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント
	バロール					
オプション			年齢	18歳	性別	女
覚醒	素体	衝動	吸血		初期侵食率	33%
出自	父親不在		経験	喪失	邂逅	シユラ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	8		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
123「」	RC	10r+8		16		C値8
1234「」	RC	10r+8		16		C値8/範囲(選択)/シナリオ2回
(100↑)123「」	RC	11r+8		18		C値7
(100↑)1234「」	RC	11r+8		18		C値7/範囲(選択)/シナリオ3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
応急手当てキット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
患者の黄金	P	N		
シユラくん	P 好意	N 疎外感		
彩乃さん	P 連帯感	N 恐怖		
シナリオロイス	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソレイト:バロール	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
黒の鉄槌	7	1	Xジャー	視界	-	RC	-	
効果: 攻撃Lv×2+2/同エン不可								
黒星の門	5	2	Xジャー	-	-	シンドローム	ピュア	
効果: 同エン不可を可に/判定ダイス+Lv+1								
因果歪曲	2	3	Xジャー	-	範囲(選択)	シンドローム	-	
効果: 対象を範囲(選択)に変更/同エン不可/シナリオLv回								
霸王幻魔眼	5	5	Xジャー	視界	単体	RC	80↑	
効果: 攻撃Lv×5/同エン不可/シーン1回								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 判定を自動失敗させる/シナリオ1回								
魔王の玉座	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 浮いてる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

※ページ数だけのものは全てEAからです
以下トロイメライ・リコレクションネタバレ

Allen・Balzac
和名もといオーヴァードになる前の本名は金剛怜(こんごう れん)
中性的な容姿。一人称は「ボク」
コンボ名はその時々によって言いたいことを言う感じだがどう見ても誰かと会話しているようにしか聞こえない。
誰と会話してるんでしょね。

左目という臓器と能力を明確に移植されたためか、それともストレスによる幻聴か、アレンは時折眼の持ち主である鞍馬彩乃の言葉を聞く。
それは8割はアレンが創造した幻聴であるが、残り2割くらいは彩乃の意志が左目に宿っているのかもしれない。
そのためか服や食の好みや戦闘スタイルが彩乃寄りになる。

相棒となった玉響衆羅のことは明確に好意を抱いているが
目先のライバルが衆羅の知識の無さと亡き彩乃なので苦勞が絶えない。
がんばれ。

【トロイメライ・リコレクション時の設定】
生まれつき体が弱く、また幼い頃親が離婚をしたため日本人の母親に女手一つで育てられた。フランス人だという父の行方は知らない。
母親に過保護&過干渉気味に接されていたため窮屈さを感じながらも恩義はあったため従っていた。
18歳を過ぎたころには持病が悪化し、母親の頼みもあって病室から出られなくなった。
こんなものか、ボクの人生は。